

# 食品リサイクルフォーラム開催

2月26日、公益財団法人有機質資源再生センター主催（農林水産省・主婦連合会・中央畜産会後援）によ

り、食品リサイクルサロン・フォーラム2013が主婦会館プラザエフにて開催されました。

## 食品ロス削減など強調

最初に、農林水産省食品環境対策室岡輪則行さんより、「食品リサイクルと食品ロス削減」と題して基調講演が行なわれました。

型バイオマス発電の取り組み事例の紹介、食品衛生上問題のない食品の有効利用としてのフードバンク活動についてなどのお話がありました。

最後に、牛久保さんをコーディネーターに、「食品廃棄物の発生抑制とリサイクル 未来社会のためにはわれわれは今なにをしなければならぬか」と題して、パネルディスカッションが行なわれました。

食品循環資源の再生利用などの実施率は食品製造業が九四％であるが、食品流通の川下にいたるほど分別が難しくなるため、外食産業では一七％に落ちる。肥料化・飼料化・バイオガス化・都市

次に東京情報大学学長の牛久保明邦さんより「食品廃棄物の発生抑制とリサイクル」と題して、特別講演がありました。

小田急フードエコロジセンター顧問の高橋巧一さんからは、エコフィードに取り組みきっかけは、輸入飼料（穀物）からの脱却・食品残渣の有効利用であったこと。

「買すぎない・作り過ぎない・食べ残さない」など、日常の心がけが非常に大切であることが強調されました。

（株）郷顧問の川上康治さんからは、ヨーロッパでの視察で消化吸収が良く、豚舎の空気が汚れない液体飼料を知り、導入を決意。高橋さんと共同で試行錯誤の末、おいしい豚肉が供給できるようになったこと。

（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。



（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。

（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。

ユニー（株）環境社会貢献部長の百瀬則子さんから、それぞれの部署ごとに廃棄物の計量を実施し、それぞれが削減の取り組みを実施。他方で回収されてできなかった肥料により、消費量が満たさず農産物の収穫が生まれていること。

（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。

（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。

（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。

（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。

（株）郷顧問の阿部邦夫さんからは、バイオマスプラントで牛ふん・野菜くずなどから堆肥・液肥やガスを製造し、出来た農産物はスーパー・生協・外食産業など五〇社へ出荷していること。